

決議：

1. 資本主義の長引く世界的危機のなかで、帝国主義は世界の資源の収奪と搾取を強めている。とりわけ米国は様々な国に対して、その国の経済を脱民族化させ、米国資本と貿易にとっての障壁を撤廃し、原材料へのアクセスを妨害するものを取り除くために、自らの計画を採用するように圧力をかけ続けてきた。これに付随するものとして、米国のグローバルな軍事態勢と世界における軍事支配の強化がある。
2. 最近、米国・オバマ政権はその外交と軍事力の焦点を再び太平洋地域にあてると発表した。それは米国の回帰戦略あるいは再調整戦略として知られているが、中国のような地域におけるライバルを包囲し、米国に批判的、あるいは米国の政治と覇権的利害に対してたたかう国々を恫喝しつつ、アジア太平洋地域における米国の経済的、政治的、軍事的な支配をさらに強力なものにしようとするものである。これは同地位における帝国主義の収奪、ミリタリズム、介入の強化を意味する。
3. 米国の戦略的回帰はアジア太平洋地域における米国の役割に新たな重要性を。それゆえ、この戦略に対する批判的で深い理解が必要であり、帝国主義に反対して全世界で広がる拡大する民衆の闘いの見地からそれを行わなければならない。
4. 他方、われわれはアジア太平洋地域の様々な国において米軍プレゼンス、介入、戦争に対する大衆的闘争の復活を目撃している。
5. この文脈において、「平和と主権に関与し、民衆の連帯を築こう：米国のアジア回帰、ミリタリズム、介入に関する国際会議」が2013年7月16日～18日にフィリピン・マニラで開催される。この会議はBAN THE BASES!、ピース・フォー・ライフ、アジア太平洋反米軍基地ネットワーク、国際民衆闘争同盟（ILPS）第1・第4部会が呼びかけている。
- 6.
7. この決議を通して、AWCは以下のことを決議する
 - a. この会議を共同で組織し、また、積極的に参加すること
 - b. 各国の同じ考えをもつ団体、機構、個人に対して、またその国際的なネットワークに対してこの会議を呼びかけること
 - c. 可能であれば、会議の実現のための財政を支援すること

フィリピン新民族主義者同盟（Bayan-Philippines）

2013年3月3日

於・台北